

事業名	競技スポーツ環境の充実及び支援	評価実施者	所 属	社会教育課スポーツ推進室
		職・氏名	課長・竹谷和徳	

主要事業の概要	開始年度	H13	根拠法令等	スポーツ振興基本計画（スポーツ振興法）								
	実施方法	■ 直接 □ 委託 特定財源 ■ 一般財源 □ 補助金等 □ 負担金										
	目 的	各種スポーツイベントの推進、各種施設の管理と有効活用を図るほか、スポーツ著名人による実技研修会の開催や各スポーツ全道・全国大会の誘致により、一流選手のプレーを間近に観ることや、競技等に参加することで、競技力向上や競技スポーツへの興味・関心を高める機会を提供し、各種スポーツ人口の拡大を図ることを目的とする。										
	事業内容	○トップアスリートを招待し、北海道室内棒高跳大会を7回継続を計画をしたが、東北地震で中止となった。 ○北海道中学校軟式野球大会を平成16年度から7回継続開催した。 ○施設の老朽化により、市営球場や青年体育センター設備等の改修を行った。 ○全国・全道規模の大会開催及び選手の出場について、関係団体と連携を図った。										
事業費	区 分		19 年度	20 年度	21 年度	22 年度		23 年度	特 記 事 項			
	事業費(千円)								生涯スポーツ・体力づくり推進と共通			
	うち一般財源											
目標と実績	区 分				単位	H19	H20	H21	H22	H23	実績の評価	
	1	全国・全道大会開催数			目標 実績	大会				12		東日本大震災により中止した全道大会もあったが、例年と同数の大会を開催できた。
	2	全道大会出場数			目標 実績	組				23	全道大会出場数は前年と同数となった。 (10競技 17人・6団体)	
	3	全国大会出場数			目標 実績	組				21		昨年全国出場した高校の陸上と一般のマスターズ陸上競技等が本年は該当が無かったため前年より10組減少。
	4	スポーツ施設利用人数			目標 実績	人				248,700	パークゴルフや青年体育センター、市営球場の利用者が前年度より3％減となった。	
										248,700		

評価項目		点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察							
1	必 要 性	9	市民ニーズや社会情勢に適合しているか		■ 5 □ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
			実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)		□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
			○体育協会及び加盟団体等と連携し、全道大会を12大会開催してトップレベルのプレーを観戦する機会を市民に提供。 ○市は施設環境の充実として、本年市営球場のスコアボード設備機器改修や青年体育センターのバスケットゴール改修などの整備を行った。							
2	有 効 性	8	目的に照らして効果的な手法であるか		□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
			成果が十分に上がっているか		□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
			○施設の利用状況は、天候が良かったため、屋外スポーツ施設の利用増となった。 ○小学生から高校生～野球、弓道、水泳、バドミントン、少林寺拳法の5競技で9組が全国大会に出場した。 ○一般～朝野球、カヌー、全国障害者スポーツ大会の3競技で3組が全国大会に出場した。 ○少年野球はジュニアドラゴンズが北日本大会で優勝、全国障害者スポーツ大会では、43歳女性が銅メダルを受賞した。							
3	効 率 性	4	費用と成果のバランスは適正か		□ 5 ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1					
			○体育協会及び加盟団体等と連携し、全道大会誘致を行った。また、スポーツフェスティバルでは、オリンピックの柔道金メダリスト上野雅恵選手を招待し、柔道選手及び指導者との交流を図った。							
総合評価	合計	21	ランク (A～E)	事業の今後の方向性	○各スポーツ団体と連携した全国・全道大会に出場できる選手の指導・育成を行う。 ○各スポーツ施設及び設備の年次計画的改修を行い、スポーツ環境の整備改善を図る。					
	↓	/25								
	100点換算	84			B					
		/100	■ 拡充 □ 縮小・統廃合 □ 質的向上 □ スピードアップ □ 検証 □ 現状維持							

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 B : 71～85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 C : 56～70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指すことが必要である
 D : 41～55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

評価項目	点数	判 定					点検・評価に関するコメント	
1 必要性	9	①	☒ 5	☐ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	・滝川西高が頑張れば、小中学生も力が入る。 ・全道新人中学野球大会も第11回以降も滝川で行うよう手を上げて欲しい
		②	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
2 有効性	8	③	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
		④	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
3 効率性	4	⑤	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
		合計	21	100点換算	84	ランク	B	
			/25	/100				